



のうえん
すくすく農園だより

れいわ ねんど ねんど とよなかしりつみのわしょうがっこう ふじもと たかぎ
令和2年度(2020年度) 豊中市立箕輪小学校 藤本・高木 NO. 4

ねんせい たう
5年生田植え

6月15日すくすく農園で5年生が田植えをしました。例年、田植え前に『すくすく農園教室』を開き、橋本さんと福本さんに学校へ来ていただいていたのですが、今年は時間がとれませんでした。5年生は、社会科と総合の学習で米について学びますが、その事前授業として米作りについてすくすく農園教室で学ぶ予定でした。内容としては、世界三大穀物(米・とうもろこし・小麦)について触れ、米作りの昔と今ということで昔の農業と近代農業の様子を映像で見て、その違いを学ぶ予定でした。

現代では機械化されている米作りですが、収穫まで長い時間をかけての作業と台風などの自然災害との戦いなどを乗り越えて、やっと米が収穫されます。米という漢字は『八十八』の文字からつくられたといわれており、米ができるまで88回もの手間がかかるという意味があります。あたりまえのように食べている“ごはん”は、たくさんの手間暇をかけて作られてきたということを忘れずに食べもの全て無駄にしない気持ちで一人ひとりもてるといいですね。

田植えの時は、田んぼに足を入れた時はワイワイ言っていたのですが、みんな真剣に苗を植えていました。普段はできない貴重な体験ができたと思います。最後は田んぼに水をはり、水田にしました。今回植えた苗は、ヒノヒカリという品種です。(給食で使っている豊中産の米も同じヒノヒカリです!)昨年度は、玄米で約29kg収穫できました。今年はどれだけの量が収穫できるか楽しみですね。

こめ
米ができるまで

3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月

田起こし 種まき・苗づくり 田植え 稲の成長・草取り・水の管理など 稲刈り・脱穀

日本の稲は水田でつくられています。水田でつくられるのは、稲が水を好きな植物であることのほかに、同じ場所で毎年植えることができるためです。田植えから稲刈りまでは、約5か月ぐらいの期間をかけて行われます。

※稲の生育については、天候や地域差もあるのでひとつの目安としてお使いください。



うらめん
裏面につづく